

令和5年2月21日
(2023年)

保護者の皆様

吹田市立第三中学校
校長 和田 幸洋
教育課程委員会

学校教育アンケートの結果について

平素は本校の教育活動に、ご支援とご協力を賜りありがとうございます。今年度もコロナの影響がありましたが、体育大会や総合的な学習の時間の発表会などの行事を実施することができました。保護者の方にもご協力いただきありがとうございます。

さて、12月に実施しました学校教育アンケートの分析結果をお知らせします。今後、アンケートの結果を踏まえ、本校教育のより一層の充実に向けて取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【保護者アンケートから】

1. 保護者の方の高い学校への関心

今回の保護者対象アンケートの回収率は89%でした。昨年に引き続き、多くの保護者の方が、学校教育活動に高い関心を示していただいている表れと捉えています。

2. 学校の取り組みの評価について

アンケート24項目中、高い評価（肯定的な回答率が80%以上）のあった項目が10項目、概ね高い評価（肯定的な回答率が60%以上80%未満）のあった項目が12項目となりました。以上の結果から、本校の教育活動については、概ね肯定的に捉えていただいていると思います。すべての項目で高い評価が頂けるよう、今後も課題改善にむけた努力が必要と考えています。

3. 魅力ある教育活動について

『子どもは、体育大会、校外学習などの行事に、積極的に参加している』については、90%の肯定的な回答がありました。また、『子どもが学校へ行くのを楽しみにしている』、『学校の雰囲気が良く、子どもたちはいきいきしている』についても、約80%の肯定的な回答率が出ています。今後も、これらの活動を深化させながら継続していきます。また、生徒たちの成長する姿を見て頂きたいと考えています。

4. 学校の説明責任について

『学習の状況や学校の様子などを、懇談や学年通信などによって知ることができる』は約89%、『学校は、子どものことについて相談に応じてくれる』について83%の肯定的な回答がありました。また、『学校は教育方針をわかりやすく伝えている』『学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている』についても肯定的な評価でした。今後も保護者の方に、学校の方針や学校目標・教育内容を積極的にお知らせし、理解を深めていただけるよう学校便りや校長ブログ等を継続していききたいと考えています。

5. 学校の危機管理について

子どもの安全確保については、『台風や火災・地震時などの対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている』については、88%の肯定的な回答がありました。学校としては、子どもの命を守り、安心・安全を確保することは、最重要課題であると認識しております。今後も、学校の危機管理を高めるとともに、年3回の避難訓練や、犯罪防止教室等を開設して、子どもたちの危機回避能力の育成にも努めていきたいと考えています。

6. 改善が必要な事項

『子どもは学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている』については肯定的な回答は55%で、生徒アンケートの『授業がわかりやすい』の肯定的回答が87%と差異があり、折に触れ丁寧に説明をしていかなければならないと考えています。これからも、学校の中核は授業であるという認識のもと、毎年実施している年1回の研究授業及び全教員による公開授業等を積み重ね、「わかる授業」、「学ぶ楽しさが実感できる授業づくり」をすすめ、重点的に取り組んでいきたいと考えています。子どもの悩みや相談に対応できるように、子どもとの信頼関係を築いていくことや、子どもたちに人権意識や社会のルールやマナーを身につけさせることも大変重要であると捉えています。今後とも、これらの課題の克服のために、道徳教育・人権教育の推進にも取り組んでいきます。

【生徒アンケートから】

1. 学校生活について

学校生活については、『学校へ行くのが楽しい』が87%、『コロナ禍でも生徒会活動が活発であった』が約86%、『部活動に参加するのが楽しい』が90%、『学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫してある』は89%の肯定的な回答がありました。生徒達は、概ね学校生活に満足している様子が伺えます。さらに、生徒達の実態を正しく把握し、教育活動に反映させていきたいと考えます。

2. 授業について

授業については、『授業は分かりやすい』『グループ活動を多く取り入れている』『ICT機器（コンピューター等）を使う授業は分かりやすい』『意見を発表する機会が多い』『総合的な学習の時間は、教科以外のいろんなことを学べる』『家で学校の宿題をしている』の5項目において平均85%の肯定的な回答がありました。今後もさらにICT機器を活用した授業を取り入れていきたいと考えます。現在、ICT機器を利用した授業を積極的に実施しておりますが、1人1台のパソコンが配置されたことも踏まえ、コロナ禍の中でのオンライン授業や、授業内の取り組みなど、より一層活用してまいります。

3. 教職員について

先生については、『先生は、私たちの意見を聞いてくれる』『先生は、いじめや校内暴力など、私たちが困っていることについて対応してくれる』『授業でわからないことは、先生に質問しやすい』『先生は、学習で努力したことを認めてくれる』の4項目において平均82%の肯定的な回答がありました。しかし、一部の生徒達は授業や学習内容について質問しづらいことや、個人的な悩みを教員に相談しにくいことがあるようです。友達や保護者に相談できない悩みがあるとき、教員に相談できる環境を作れるよう、引き続きすべての教職員がカウンセリングマインドを身につけ、学級担任を中心としてお互いに連携し、生徒ひとりひとりの様子に気を配り、きめ細かな指導に努めてまいります。

また、週一回でスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが配置されている中、今でも多くの生徒や保護者の方が利用されていますが、学校だよりで来校日をお知らせし、その利用についても継続して呼び掛けていきます。

4. 評価について

評価については『通知表の学習成績の評価は理解できる』の項目において約82%の肯定的な回答がありました。今後も適切な評価を心がけてまいります。

【生徒・保護者アンケートから】

生徒アンケートから『将来の進路や生き方について考えたことがある』が81%、保護者アンケートから『自分の将来の生き方をよく考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている』については約80%の肯定的な回答がありました。今後も中学校生活の3年間だけでなくお子様が自分の将来に希望を持ち、自分の将来を切り抜いていけるような進路指導、教育活動を目指してまいります。